

平成30年度 会 長 指 針

～語り合おうクラブ旗のもと、まだ見ぬ発想のために～

同友クラブ会長 田 中 宣 寛

この、歴史と伝統ある同友クラブの会長を拝命することとなりました。会員ひとりひとりのクラブ活動が、より充実したものとなるよう努めてまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

さて、この同友クラブの目的は、「自己啓発と研修に努め、もって地域社会の発展に寄与するとともに、会員相互の親睦を深める」ことです。そして、その前提は、シンボルマークで表現されている、「個性を尊重し、話し合いと理解と協力のもとに」、活動することです。

さまざまな個性が集うからこそ、新たな発展があり、発想があり、未知なる未来が開かれる。そのようなクラブ活動を目指したいと考えております。今まで、出会ったことのない考え方や、人々、環境に触れられることは、無限の可能性を秘めています。同友クラブは、そういう場となりうる、と考えます。

そして、同友クラブが、そのような場となるには、各委員会の会議、理事会、例会、それぞれに会員一人一人が主体性を持って参加し、意見交換に積極的に加わることが不可欠です。その際には、繰り返しとなりますが、丸と四角の同友クラブのシンボルマークが表す、個性の尊重、話し合い、理解と協力を忘れず、臨んでいただきたいと思います。そうすれば、この同友クラブはますます楽しい場となり、より発展すると確信しております。

同友クラブは、唯一無二の組織です。従いまして、何かをまねる必要はないと考えます。ただ、その存在意義は、だからこそ常に問い続けなければいけないのではないかと感じます。各委員会や理事会での話し合い、毎月の例会が表現するものこそが、同友クラブを形作り、その存在意義を作り上げていきます。先輩方から受け継いだこの同友クラブをさらに素晴らしいものにしていきましょう。